

泉の里地・里山・里水自然観察会報告

日時： 2016年1月17日

場所： 飛沢ため池 ～ 井富ため池

天気： くもり 気温-4度 水温4度

風もなく、静かな観察日となりました。

いつもよりカラ類が近くに姿を見せてくれたので、仕草がよくわかりました。今頃のエナガは、モコモコとして、まるでダウンコートを着ているみたいで、可愛い姿です。

木々が葉を落としているので、枝で動くものは見つけやすいのです。野鳥だけでなく、今日はリスのカップルにも逢いました。

リスは巣材に杉の皮を使います。剥ぎ取った跡が確認できるとなぜか安心するんですね。でも赤松の下で見つける彼らの食痕エビフライが年々少なくなっていることが気になります。

開発のためや、松くい虫防除のために赤松林がどんどん伐採されています。南麓の赤松林は、赤松・ツツジ群落として希少な群落なのですが、景観の議論だけで規制の対象にもなっていないのです。



八ヶ岳



甲斐駒ヶ岳、北岳など



薄氷の飛沢ため池



エビネ



誰の巣か不明



リスが剥ぎ取った跡



コウヤク病



クスサンのマユ



観察路の様子、雪がありません



小池の底の落ち葉たち



コバギボウシ



ヤブタバコ



ツノハシバミの芽



ザゼンソウ



アカネズミの食痕



薄氷の井富ため池



キセキレイ



飛沢ため池のカルガモ



ウバユリ



リスの巣(巣材は杉の皮)